

5 環境教育・環境学習の推進

5-1 多様な環境教育・環境学習の推進

1 環境教育の推進体制(環境創造課)

(1)環境教育の推進指針

環境教育の目的は、環境問題に関心を持ち、環境に対する人間の責任と役割を理解し、環境保全に参加する態度及び環境問題解決のための能力を育成することにあります。

県民すべての世代にわたる体系的・総合的な環境教育を推進するため、平成 17 年に「山梨県環境基本計画」が策定され、環境学習施設の整備や充実を図るとともに、右表にあるような各事業の展開を通じて、県民の環境保全意識の高揚を図ってきました。平成 21 年 3 月に「やまなし環境教育実践指針」を策定し、行政、学校、企業、各種団体等が人の活動と環境容量との調和を図り、自主的な実践活動が行えるよう、学習の機会、機材、指導者、拠点施設・設備等の各基盤を整備しています。

(2)環境教育の推進体制

本県では、各部局にわたり様々な環境教育事業を展開しています。その体制と主な実施内容は右のとおりです。

2 環境教育の各種施策

(1)環境科学研究所における環境教室等(森林環境総務課)

森林環境部	
森林環境総務課	○「山の日」啓発活動推進等
環境創造課	○環境日本一やまなしづくり実践活動の推進
	○やまなしクリーンキャンペーンの展開
	○エコドライブ運動等各種普及啓発
	○ごみの減量化、リサイクル等の推進
	○省エネルギー、クリーンエネルギーの普及啓発
大気水質保全課	○大気・水質保全等公害防止に係る普及啓発
みどり自然課	○自然保護や緑化推進等に係る普及啓発
	○「八ヶ岳環境と文化の村」の運営
森林整備課	○森林整備、森林・山村地域の活性化、森林災害予防の普及啓発
林業振興課	○植樹運動、林業体験等を通じた林業普及
県有林課	○「森林文化の森」の整備と利用促進
環境科学研究所	○環境教育事業の実施 ○指導者の育成等
森林総合研究所	○森林・林業に関する調査・研究 ○森の教室等の実施
各林務環境事務所	○地域における環境保全活動の推進
教育庁	
義務教育課	○エネルギー教育推進事業の実施
社会教育課	○フロンティア・アドベンチャー「やまなし少年海洋道中」の実施
その他の部局	
生涯学習文化課	○やまなしまなびネットワークシステムの運営
企業局電気課	○クリーンエネルギー学習講座等の実施

県の環境教育推進体制と主な実施内容

環境科学研究所の環境教育部門では、環境問題を地球規模で考え、身近なことから実践することの大切さを学習する「環境教室」、「環境体験講座」、「環境映画会」、「身近な環境調査」、「地域環境観察会」や、「環境写真展」等の企画展示など、幅広い環境教育事業を実施しています。

事業名	H21実績	備 考
環境教室	団体を対象として随時開催	
やまなし環境映画会	8/9・15・16	・優れた環境映画の上映
環境体験講座	6回(各半日)	・体験活動を取り入れながら、身のまわりのものを題材とした内容で開催
身近な環境調査	71校参加 (小・中学校)	・サクラの開花調査
地域環境観察会	6回(半日または1日)	・地域の身近な自然などの観察会
環境科学講座	1回	・科学的なデータや知見を取り入れ、わかりやすい内容で開催
企画展示	「山野草写真展」 4/18～6/21	
	「動物写真展」 7/4～9/6	
	「きのご写真展」 9/19～11/23	
	「富士山・火山写真展」 12/5～3/7	

環境教育事業の概要(平成21年度)

(2)体験型環境学習の推進(環境創造課)

次代を担う子どもたちが、地域において楽しく自発的に環境学習及び環境保全活動を行う「こどもエコクラブ」の活動を支援し、その内容の充実を図っています。

○県内の加入状況(平成21年3月31日現在)

- ・クラブ数…42
- ・会員数…687人(全国:クラブ数…約3,700 会員数…約180,000人)

○事業内容

- ・こどもエコクラブ応援団

こどもエコクラブの活動や活動計画立案の際に応援を望んでいるサポーターと、地域で環境に関する専門知識を持って活動をされている方とをつなげることで、サポーターの悩みに応え、クラブの活動がより充実し、さらに継続的なものに発展することをねらっている。

〈平成21年度 応援団数 10名〉

- ・こどもエコクラブ全国フェスティバル

「こどもエコクラブ全国フェスティバル」大会に、県内の「こどもエコクラブ」から和泉エコクラブが、同フェスティバルに展示する壁新聞を提出した。

(3)学校林の活用推進(みどり自然課)

学校週5日制の実施や総合的な学習の時間の創設に伴い、森林の教育的利用に対するニーズが高まってきている中で、児童・生徒の森林環境教育の場として学校林を活用するために必要な指導助言や情報提供を行っています。また、活動の活発化を図るため平成19年度には「森林環境教育の手引き～学校林活用マニュアル～」を発行しました。

(4)どんぐりクラブ育成事業(みどり自然課)

小学生以下の子ども達に、山や森、公園に落ちているどんぐりを拾う活動を通じて、緑に親しみ、森林を大切にすることを育んでもらうことを目的として実施しています。また、集まったどんぐりは環境教育等への活用を図るため、県緑化センターで養成し、希望した小中学校や公園等に配付しています。

平成 21 年度は 1,253 人の子ども達が会員となり、集めたどんぐりの数に応じてユキヤナギとシモツケを配付しました。

(5)エネルギー教育推進事業(義務教育課)

①啓発のための「リーフレット」の作成・配布

- ・エネルギー教育を推進するため、県下の小 4～中 3 の児童生徒全員が、日常生活で自ら実践できる一部記述式の「リーフレット」を作成し、配布する。

②エネルギー教育関連教材の貸し出し

- ・各学校でそろえにくいエネルギー教育関連教材を各教育事務所に備えておき、必要に応じて貸し出す。

③エコ活動推進キャンペーン ～地球のエネルギーについて考えよう～ の実施

- ・10 月中旬～11 月をエネルギー教育推進の強化月間とし、県下全ての公立小・中学校で一斉に省エネ・省資源活動の取組や発電・新エネルギーについての学習活動等を行う。

④ホームページの活用・更新

- ・義務教育課で開設しているホームページ「小中学生のためのやまなしの環境教育」を通じて、各学校の取組の様子や関連事業の紹介、環境教育・エネルギー教育の進め方等について情報発信を行う。

(6)青少年長期自然体験活動(フロンティア・アドベンチャー「やまなし少年海洋道中」)(社会教育課)

物質的な豊かさに伴う便利な生活環境の中ではぐくまれている青少年に、本県にはない海洋における大自然の中で、非日常的、また原始的な野外活動生活を長期間実施することにより、青少年に心の豊かさや、たくましさをはぐくむ事業を実施しています。

実施に当たっては、美しい海洋の自然に触れることにより地球環境の大切さを感じ、人と自然との共存方法について考える機会をつくるとともに、生活環境の異なる地域の人々との交流を進めることにより、人と人との繋がりを考える機会ともしています。

○経緯 昭和 63 年度より事業を開始し、平成 21 年度で 22 回目を迎えた。

○平成 21 年度の実施内容

参加者 県内の中学生 50 名(男子 37 名、女子 13 名)

実施日 事前説明:平成 21 年 6 月 14 日 日帰り(ことぶき勸学院・大学院)

事前研修:平成 21 年 7 月 11 日～7 月 12 日 1 泊 2 日(県立愛宕山少年自然の家)

現地研修:平成 21 年 8 月 1 日～8 月 9 日 8 泊 9 日(東京都八丈島八丈町垂戸)

事後研修:平成 21 年 8 月 19 日 日帰り(県立八ヶ岳少年自然の家)

- 体験内容
- ・洋上体験(船での寝食、漁船クルージング、外洋の観察等)
 - ・自然体験(キャンプ生活、スノーケリング、野外炊事、サバイバル踏破、ビバーク等)
 - ・交流体験(八丈島の小中学生、住民の方等)
 - ・自主企画体験(自らの企画による活動、サバイバル踏破等)
 - ・自然環境体験(全期間での衣食住、天候、海洋及び海洋性の自然等)

(7) やまなしエコティーチャーの派遣(環境創造課)

地域における環境保全意識の高揚を図り、地域の環境保全活動に資するため、環境に関する知識や豊富な経験のある人材を募集し、環境学習指導者(やまなしエコティーチャー)として養成するとともに、県内の民間団体等が主催する環境保全に関する研修会等に派遣しました。

自然環境分野		生活環境分野	
氏名	役職等	氏名	役職等
跡部 治賢	NPO法人自然とオオムラサキに親しむ会会長	青木 のり子	ユートピアこうふ緑の会代表
伊野 良夫	早稲田大学名誉教授	芦澤 公子	NPO法人みどりの学校理事長
梶原 昇	県立高校非常勤講師	飯窪 さかえ	県女性団体協議会会長、県生活学校連絡会相談役
口野 道男	山梨地学会顧問	石井 迪男	山梨環境カウンセラー協会会長
近藤 信行	作家、県立文学館館長	内田 勝己	NPO法人みどりの学校副代表
齋藤 一紀	(財)日本鳥類保護連盟専門委員	大津 巖	シチズンセイミツ(株)勤務
流石 皇甫	美花里自然教室代表	草野 香寿恵	環境省環境カウンセラー
瀬田 實	山梨動物生態研究会会長	黒田 光秀	(株)総合リサイクルセンター黒田・代表取締役
田中 収	大月短期大学名誉教授	櫻林 いさを	環境省環境カウンセラー
内藤 邦雄	NPO法人みどりの学校専務理事	佐藤 悦子	やまなし環境会議常任理事
中川 雄三	動物写真家、日本野鳥の会富士山麓支部副支部長	塩崎 洋子	放課後子ども教室「みんなの居場所“羽黒ほっとサロン”」代表
中込 司郎	山梨県植物研究会会長	志沢 美香	こどもエコライフネット理事
中村 司	山梨大学名誉教授	島崎 洋一	山梨大学准教授
野澤 健夫	HOOKかんきょう「協育」事務所代表	清水 喜美男	環境省環境カウンセラー
堀内 美千恵	環境保全創造の会会長	鶴田 和彦	横河電機(株)勤務
宮本 克己	マンズワイン(株)勤務	中村 伯男	環境省環境カウンセラー
山田 健一郎	県地球温暖化防止活動推進員	中村 道子	地球環境女性連絡会会員
山本 紘治	山梨科学アカデミー会員	藤巻 眞史	(株)田丸・代表取締役会長
依田 正直	やまなし野鳥の会会長	宮内 厚子	県地球温暖化防止活動推進員
渡辺 尚希	アウトバック・アドベンチャーツアーズ代表	望月 あけみ	NPO法人みどりの学校事務局長
		山坂 右内	(株)メイキョー技術顧問 山梨科学アカデミー会員

やまなしエコティーチャー登録簿(平成21年10月1日現在)

平成 21 年度実績

回数	月日	主催団体	テーマ	エコティーチャー	参加人数
1	5月31日	都留市立旭小学校	親子環境学習会 ～郡内の自然環境と動物～	中川雄三	85
2	6月13日	中央市温暖化対策地域協議会	保育園保護者研修会、地球温暖化防止のための新エネルギーについて	芦澤公子	90
3	6月19日	あしたの山梨を創る生活運動協会	環境教育研修会、廃棄物が地球を照らすとき	黒田光秀	52
4	6月19日	ガールスカウト山梨県第6団	世界に誇る富士山の自然 ～身近なふるさとの自然の楽しみ方～	中川雄三	21
5	6月24日	中巨摩教育協議会 平和環境教育研究会	学校教育内でどのように環境教育を推進するか	瀬田 實	15
6	7月24日	(社)産業廃棄物協会	山梨県の公害史と地球環境問題	山坂右内	34
7	7月28日	新宗連山梨県協議会	ごみ減量化の推進と再資源化への取組	飯窪さかえ	21
8	8月11日	韮崎市甘利児童センター	省エネとごみ減らし	望月あけみ	14
9	8月18日	子育て支援団体ママ&キッズサポートあつぷる	自然エネルギーを知ろう「太陽光利用などについて」	芦澤公子	60
10	9月2日	韮崎市立北西児童センター	環境について	芦澤公子	30
11	9月4日	身延町立久那土中学校	学級福祉講話「地球環境とリサイクル」	黒田光秀	8
12	9月17日	笛吹市立石和南小学校	ゴミのゆくえ～処理される物・リサイクルされる物～	藤巻眞史	60
13	10月4日	南アルプス市率小笠原小学校PTA環境美化部会	環境に関する親子学習会	流石皇甫	71
14	10月15日	北杜市立高根中学校	生き方の学習「環境について考えよう」～水の循環と地下水汚染の科学～	流石皇甫	83
15	10月18日	大月市ごみ減量化推進協議会	環境問題についての講演会	飯窪さかえ	65
16	10月18日	森の中の絵本館	自然観察会	中川雄三	18
17	10月20日	韮崎市立韮崎北東小学校	身近な暮らしの中から考える省エネとゴミ減らし	望月あけみ	170
18	10月23日	身延町立万沢中学校	白鳥スクール(PTA学習会)「地球環境とリサイクル 今私たちにできること」	黒田光秀	74
19	11月5日	中央市立田富北小学校	地球温暖化防止のために	芦澤公子	67
20	11月12日	韮崎児童センター	食育のお話し	望月あけみ	26
21	11月14日	韮崎市中田公民館	富士北麓の自然環境と歴史文化遺産の探訪	口野道男	41
22	11月15日	上野原市立秋山中学校	総合学習、PTA研修会「環境問題」	梶原 昇	78
23	11月17日	県立上野原高校	山梨の自然・身近な自然環境を考える	中川雄三	46
24	11月18日	北杜市立高根中学校	生き方の学習「環境について考えよう」～エコライフ(ゴミ削減・省エネ・3R・自然エネルギー使用)～	芦澤公子	79
25	11月24日	県立上野原高校	土壌動物から見た自然	山本紘治	42
26	11月25日	都留市立東桂小学校	環境集会	黒田光秀	451
27	11月26日	青森山田高校通信教育山梨校	地球環境を守る～私たちに出来るエコ活動～	梶原 昇	20
28	11月30日	進徳幼稚園	エネルギーのエコ体験	島崎洋一	55
29	12月22日	石和町区長会	ごみの減量やリサイクルについて	藤巻眞史	30
30	1月9日	韮崎中條公民館	中條の豊かな自然を見直そう	口野道男	83
31	1月15日	まみい保育園	エネルギーのエコ体験	島崎洋一	22
32	1月20日	しらゆり幼稚園	エネルギーの体験学習	島崎洋一	47
33	1月22日	笛吹市立一宮南小学校	身近な自然環境(冬の里山)	中川雄三	34
34	2月5日	学校法人 聖愛幼稚園	エネルギーの体験学習	島崎洋一	34
35	2月8日	山梨県ゴルフ場支配人会環境管理委員会	環境問題の取組と廃棄物処理の現状と将来	藤巻眞史	71
36	2月19日	上野原区自治会	森林を守って地球温暖化を防止する	梶原 昇	45
37	3月14日	韮崎中田公民館	新府・穴山台地の自然と歴史を探る	口野道男	34
38	3月21日	(株)ディー・エヌ・エス	青木ヶ原樹海～大室山自然観察学習会	堀内美千恵	25
39	3月24日	ハケ岳ふるさと倶楽部	バードウォッチング大会	齋藤一紀	19
40	3月29日	NPO法人ハケ岳南麓観光ドットコム	自然環境保全・再生における現状と課題	齋藤一紀	5
計				総数	2,325

5-2 人材の育成

1 環境科学研究所の取り組み(森林環境総務課)

山梨県環境科学研究所では、環境問題や環境教育への理解をより一層深めることを目的に、また、将来的には地域の環境活動を推進しうる人材を養成する第一歩となるよう、環境生涯学習プラン「山梨環境科学カレッジ及びカレッジ大学院」を開講しています。平成21年度の実績は次のとおりです。

山梨環境科学カレッジ (受講生 26名)

種別	内容	講師	実施日
指定講座	1) 開講式・環境科学講座 「富士山の地下水」 -最新の研究から見たその起源と年齢-	安原正也(産業時牛津総合研究所) 富山眞吾(三菱マテリアルテクノ(株)) 瀬子義幸・内山高(当研究所研究員)	5/16
	2) やまなし地球環境映画会09	(アース・ビジョン組織委員会共催)	8/9・15・16
	3) 地域環境観察「剣丸尾 自然探検」	樋口星路・宮下義夫・水越文孝 (日本野鳥の会富士山麓支部)	10/31
選択講座	1) 富士山五合目自然観察	丸田恵美子(東邦大学教授) 山村靖夫(茨城大学教授) 中野隆志・安田泰輔(当研究所研究員)	8/8
	2) 秋の自然ときのご観察会	柴田尚(森林総合研究所)	10/3
	3) 富士山溶岩流観察	輿水達司・内山高(当研究所研究員)	8/29
	企画展示～写真展		
	4) 山野草写真展		4/18～6/21
	5) 動物写真展		7/4～9/6
	6) きのご写真展		9/19～10/31

山梨環境科学カレッジ大学院 (受講生 17名)

種別	内容	講師	実施日
開講式	開講式・大学院プログラムの確認		
指定講座	環境科学講座 「富士山・甲府盆地の自然災害と景観美を考える」	林 晏宏(山梨県立大学非常勤講師) 池谷 浩(地滑りセンター理事)	5/16
	A) 自然観察会の手法と運営	環境教育スタッフ	5/30
基礎講座	B) アカマツ林の調査意義と手法	中野隆志研究員	6/27
	A) 富士山の自然(自然系)	輿水達司・中野隆志・吉田洋 各研究員	6/21
専門講座	B) 生理機能測定(健康系)	永井正則・石田光男 各研究員	7/11
	C) 人と自然の関わり方を考える(地域系)	小笠原輝・森智和・齋藤順子 各研究員	9/26
	B) 青木ヶ原自然ガイド体験	小野巖(富士河口湖町自然解説員)	9/3
応用講座	A) 自然観察プログラムの実際	小野巖(富士河口湖町自然解説員)	8/1
	B) 自然観察プログラム作成・模擬実施	環境教育スタッフ	10/17
	C) 自然解説模擬実施	環境教育スタッフ	11/7
修了式	カレッジ大学院のまとめ		

2 森林総合研究所における研修(林業振興課)

林業従事者や後継者、また将来の担い手となる者を対象に技術研修を行い、地域林業や森林・林業教育の中核的指導者となるよう人材養成を行っています。平成21年度の実績は次のとおりです。

(1) 専門研修(対象: 県、市町村及び森林組合職員 ほか)

研修教科	内 容	実施日	参加者数
林業機械	小型車両系建設機械(整地、運搬、積み込み用及び掘削用)の運転に係る特別教育	H21.4.21/23	1
林業機械	林業架線作業主任者免許規程に係る講習	H21.5.21-6.23	3
林業機械	架線系機械集材技術の基礎	H21.6.9/10	7
林業機械	はい作業主任者技能講習	H21.6.25/26	1
森林測量	森林整備保全事業のための測量入門	H21.6.29	19
森林保護	保安林実務	H21.7.2	18
林業一般	森林・林業に関する基礎知識	H21.7.14	4
林業行政	新しい森林・林業施策を考える	H21.8.11	24
林業経営	提案型集約化施業と経営	H21.9.9	35
林業経営	森林組合監査の実務	H21.10.9	43
森林土木	法面緑化工について	H21.10.23	18
労働安全	森林整備保全事業担当者のための労働災害防止対策	H21.10.28	72
環境教育	森林環境教育推進	H21.11.5	17
林業経営	林業金融・税制度	H21.11.13	7
造 林	苗木生産	H21.11.25	12
林 産	県産材品質向上のための木材乾燥技術	H21.12.3	20
林業機械	高性能林業機械による利用間伐	H21.12.15/17/18	4
森林保護	生物多様性の保全と森林管理	H22.1.22	48
林業機械	林業安全作業指導	H22.1.26-1.28	9
造 林 森林保護	里山の再生	H22.3.5	15
林業経営	簡易作業路の基礎知識	H22.3.12	16
木材利用	木質バイオマス利用	H22.3.19	32
	合計		425

(2) 基礎研修【新規参入支援研修】(対象: 林業への参入・就業希望者)

科目	内 容	実施日	参加者数
概 論	森林・林業の概論と公益的機能	H21.5.26	6
林内路網 育林技術	作業路に関する知識	H21.5.27	6
	森林施業(造林・育林)概論		
搬出技術	伐木・造材に関する技術	H21.6.2	6
林業機械	林業用機械に関する知識	H21.6.3	6
計			24

(3) 技能者養成研修(対象: 林業従事者)

研修教科	実施日	参加者数
小型車両系建設機械(整地、運搬、積み込み用及び掘削用)	H21.4.21/23	3
林業架線作業主任者免許規程に係る講習	H21.5.12-H21.6.23	6
高性能林業機械による利用間伐の計画及び作業実習	H21.11.26-H21.12.22	8
はい作業主任者技能講習	H21.6.25/26	8
簡易作業路の計画及び作設実習	H21.8.25-H21.9.16	8
樹木に関する基礎知識及び標本作製方法の習得	H21.5.20/7.22/8.4	8
森林・林業に関する最新情報等に関する知識の習得	H21.4.15/8.31/H22.1.21	8
計		49

(4) 教員指導者養成研修(対象: 教職員)

研修名	内 容	実施日	参加者数
身近な自然の指導法研修会	植物の楽しみ方 ネイチャーゲーム入門 山梨の森林・林業について	H21.7.31	37
環境とものづくり研修会	木材の性質、木工作の基礎知識 山梨の森林・林業について	H21.8.3	18
森林を活用した環境教育研修会	ロープ等を用いた森林での遊び方入門 自然体験プログラムの紹介と体験学習 森林・林業の現状と環境教育の必要性について	H21.8.7	11
計			66